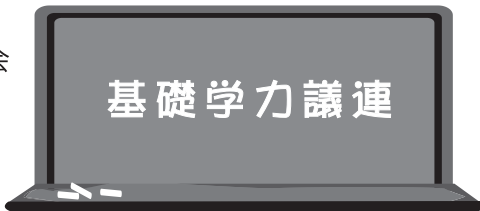


釧路の教育を考える会



vol.6



氏名 月田 光明

釧路の教育を考える会副会長  
市議会副議長  
基礎学力問題研究議員連盟代表  
総務文教常任委員会委員  
高1・中2・小6の3人の子育て中  
過去に小学校PTA会長を4年経験

いま、子ども達を取り巻く環境は大きく変化しています。学力低下や学力格差をはじめ、いじめ、非行・犯罪の低年齢化、教員の資質向上、家庭の教育力の低下など、教育を巡る問題を市民一人ひとりが真剣に考え、学校や家庭だけでなく地域全体で子ども達を育てる取組みが求められています。釧路の教育を考える会は、釧路の子ども達の確かな未来のために教育課題の解決に向けて、積極的に提言し行動しようと集まった市民有志による団体です。



去る6月9日、市議会議員の有志が集まって設立した「基礎学力問題研究議員連盟」。これまで、釧路市議会には林業の活性化をめざす議連(全会派全議員が加盟し、道内各市町村にも同様な議連がある)しかなく、こうした自発型の研究会の誕生は初めてのケースである。当議連設立の目的は、釧路の子どもの学力を支える環境をつくることに他ならず、具体的には行政、学校、家庭、地域が果たすべき役割と責任を明確化(条例)したい。

6月28日に開催した第1回の勉強会では、主に釧路市の義務教育過程における基礎学力の現状と、そこから派生する様々な問題について受講した。新進気鋭の20代から子育てをととづくに終えた60代まで、議連メンバーの年齢構成は幅広いものの、それぞれに釧路市の深刻さに衝撃に近い感想を持ったようだ。

実は、その日まで、学力問題についての認識にも、また議連への思いにも若干の温度差があったことは否定できない。しかし、講演によって明らかになった現実を前に、バ

ラバラだった意識は見事に調整されて、今後、本格的な議論を進めるための前提ができたと思っている。

さて、議会が動くことの影響は、決して小さいものではない。

市教委など行政機関は、議会の動向について敏感にならざるを得ない立場にあるし、また、報道も特に新しい動きには反応が早い。

その意味で、勉強会を継続的に開催し、その情報を発信し続けること自体に重要な意味を持つ。

まずは、釧路市に憂うるべき学力問題が存在することを多くの市民に知っていただくなくてはならない。市民の関心度が低くても、どんなに緊急度が高くても状況が変わることなど期待できないからである。

まして、学校の取組みや保護者の意識を変えるとなると、震度の大きいインパクトと世論の力が絶対に必要となる。

はたして基礎学力議連が、状況を変えるどれほどの力に成り得るか未知数ではあるものの、市民から与えられた議決権、及び提案権を発揮して、果敢にこのテーマを追い続けていきたい。

先日、全国に先駆けて公立の小中一貫校を設立し、目を見張る成果を上げている東京都品川区立日野学園を訪問。当たり前のように放課後や長

期休業中の補講を実施している他、月に1回は土曜日に4時間授業を行い、また5年生から教科担任制を導入し、習熟度別授業で学力向上に取り組んでいた。

もとより「格差の拡大につながることは反対」とか、「序列化を煽ることにはなるのではないか」との初歩的な議論は品川区において既に過去形。ひたすら真剣勝負で、子どもの育ちに挑んでいるという姿勢は、ただただ羨ましく圧倒されるしかなかった。

品川区の教育改革が始まったのは今から8年前。当時の市長と教育長が、文字通りトップダウンで推進。そして、品川発の小中一貫校は、今や都下全域に拡大した。

トップランナーの思いの深さと勢いが勝負を決めたと言いう以外にない。わが議連も、品川区の智慧と真剣さを範として、釧路における教育改革にあたりたいと思う。

ラバラだった意識は見事に調整されて、今後、本格的な議論を進めるための前提ができたと思っている。

さて、議会が動くことの影響は、決して小さいものではない。

市教委など行政機関は、議会の動向について敏感にならざるを得ない立場にあるし、また、報道も特に新しい動きには反応が早い。

その意味で、勉強会を継続的に開催し、その情報を発信し続けること自体に重要な意味を持つ。

まずは、釧路市に憂うるべき学力問題が存在することを多くの市民に知っていただくなくてはならない。市民の関心度が低くても、どんなに緊急度が高くても状況が変わることなど期待できないからである。

まして、学校の取組みや保護者の意識を変えるとなると、震度の大きいインパクトと世論の力が絶対に必要となる。

はたして基礎学力議連が、状況を変えるどれほどの力に成り得るか未知数ではあるものの、市民から与えられた議決権、及び提案権を発揮して、果敢にこのテーマを追い続けていきたい。

先日、全国に先駆けて公立の小中一貫校を設立し、目を見張る成果を上げている東京都品川区立日野学園を訪問。当たり前のように放課後や長

～新学習指導要領～  
学習指導要領では、「生きる力」に重点を置き、改定されます。2011年4月より小学校で、2012年4月より中学校で新聞を使った授業が始まります。活字に触れる習慣を付けることで、読解力、読む力が養われます。

このコラムは、吉田新聞店が「釧路の教育を考える会」に依頼して連載をしています。

(株) マルカツ 吉田新聞店

釧路市鳥取大通8丁目1番5号 TEL 51-2773・FAX 51-2885 ☎ 0120-715-104  
営業時間:平日/午後8時迄、日曜・祝日/正午迄 時間外は留守番電話にてお受け致します

